

●個別学習

■児童生徒実践型

実践タイトル タブレットPCを訪問教育の授業で活かす

本時のねらい

- ・家で過ごすことが多い本児童の実態から、学校の様子や季節の変化が伝わりにくい。録画された動画を見ることで、家以外の様子を知ることができる。
- ・タブレットPCの画像を見ることで、見る力を伸ばすことができる。
- ・聴覚優位になりがちな生活を視覚を使うことで、「見る」ことを意識するようになる。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

タブレットPCに映し出された画像を見ることで注視や追視の練習を兼ねてビジョントレーニングをすることができる。また、画面サイズが本人にとって一番見えやすい大きさであり、ベッドサイドなど児童の姿勢に合わせて、見る角度を調整することができる。

動画

本人の実態から、静止画よりも音声のある動画を注視、追視する傾向にある。親しみのある友だちの学校での様子を映し出したり、自分にとって身近な楽しみの一つでもあるお誕生日の行事について学校で実施した「誕生日会」を録画して教材にした。

参考にしてほしいポイント

プレゼンテーションソフトウェアを利用し、録画しておいた画像に効果音やアニメーションを追加することで、よりいっそう興味が持てる動画に編集できた。また、授業で使用する音楽や歌の演奏をあらかじめICレコーダーで録音したものや、効果音や虫の音などをタブレットPCのミュージックアプリに入れておくと、CDプレーヤーをいちいち操作せずにタッチパネルひとつで流すことができる。そのほか、タブレットPCをプロジェクターにつなげて映像をパネルや壁、天井に映し出すことで、スヌーズレン[®]的な活動に使用した。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	○あいさつ ・挨拶の歌にあわせて教員に両手を持ってもらったり、身体をタッチされる。	・タブレットPC（始まりの歌の伴奏を録音してミュージックアプリにあらかじめ入れておく）（ベッドサイドで操作しやすいよう傍に置く） ・音楽データ
本時の展開 展開 40	○学校の様子を知ろう。（写真1） ・行事の動画を見る。 ・お誕生日会の動画を見る。（児童の体調、様子の確認） ○光遊び ・タブレットPCのスヌーズレン [®] を見る。（写真2） ・壁面やパネル、天井に映し出された映像を見て注視や追視をする。（写真3）（ICTに関連する活動のみ記入）	・タブレットPC（事前に行事の様子を動画にしておく） ・タブレットPC（編集した録画した児童へ向けての誕生日会を編集しておく） ・動画（学校行事の様子） ・環境音楽アプリ
まとめ 45	○おわりのうた ・おわりの歌にあわせて教員に両手を持ってもらったり、身体をタッチされる。	・タブレットPC（終わりの歌の伴奏を録音してミュージックアプリにあらかじめ入れておく）（ベッドサイドで操作しやすいよう傍に置く） ・音楽データ



写真1：録画しておいた学校の行事の様子を見る

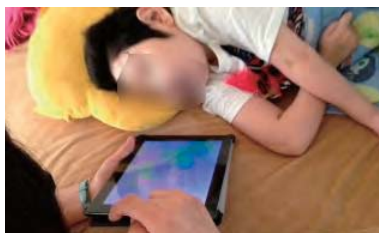


写真2：音と光が融合したアプリを見る

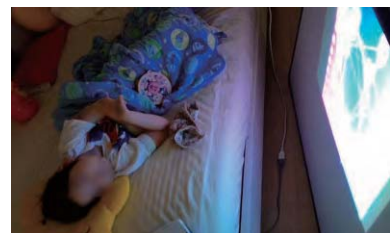


写真3：プロジェクターに接続してパネルに映し出された映像を見る

児童生徒の反応

絵本の読み聞かせではなかなか見せない笑顔など、興味をもった表情を表出するようになった。注視や追視が数分できるようになり、見ることへの関心も大きくなりつつある。また、光るものへの関心も大きくなり、光と音の世界を受け入れている様子が見られるようになった。

活用効果

評価の観点	自分の持っている視覚、聴覚、触覚を使ってさまざまな素材を感じ、笑顔や手足を動かすことで感じたことを表現することができる。
具体的変容	児童にとって「見ているであろう」しかし「何を見て捉えているのか」という、見え方についてははっきりしていない部分があるが、タブレットPCを媒体にすることで、「これなら見ていることがはっきり分かる」「これなら長い間見ていられる」ことがはっきりした。「見る」ことで不思議そうな表情をしたり、好きな色の消防自動車を目で追ったり、笑顔が出たり、手や足を動かしたりなど、「見るのが楽しい」と表現し始めている。

実践の手応え

タブレットPCを使用することで、見ることへの興味が広がった。今後はタブレットPCに絵本を画像として取り入れ、音声や効果音も活用し、プレゼンテーションソフトウェアで編集した静止画にも興味が持てるように活用していきたい。

※スヌーズレン：光、音、におい、振動、温度、触覚等を組み合わせたリラクゼーション